

シリーズ地域おこし協力隊③ 癒しと祈りの島 黒島担当 山中 彩香



佐世保の皆さん、はじめまして。ことし4月から地域おこし協力隊として黒島で活動している山中彩香です。出身は神奈川県で、東京で5年間営業の仕事をしていましたが、転職を考えるタイミングで「地域おこし協力隊」という仕事に出会いました。島に来て半年が過ぎ、方言のせい、時折会話が難しいこともありますが、島の皆さんに温かく支えていただき、楽しい毎日を送っています。

私が活動している黒島は、相浦からフェリーで50分のところにある島で、近年では「世界遺産候補の島」として市民の方々をはじめ、他県の方にも知られるようになり、年間約4,000人の観光客が訪れるようになりました。島民のうち約8割がカトリック教徒、約2割が仏教徒であり、宗教によって住む集落が分かれている面白い島です。また、島に来て一番驚いたのですが、上下水道が完備されていません。水が豊富な島のため、生活用水は井戸水や湧き水を利用しており、島中に水のパイプが通っています。

知人などから「黒島ってどんなところ?」とよく聞か

れますが、そのとき私は「スルメみたいな島」と答えます。大抵はぼかんとした顔をされますが、私にとって黒島は、噛めば噛むほど味が出る魅力のある島なのです。もちろん荘厳な教会や素敵な景色、ゆったりとした時間など一度で伝わる魅力も多いですが、黒島独特の文化や生活習慣など、知れば知るほど面白さが出てくる島なので、多くの方に何度も来ていただき、ディープな黒島を知っていただきたいと思っています。

黒島も人口減少と高齢化が進んでおり、耕作放棄地の拡大や空き家問題、島内の草刈り・清掃などに年々手が追いつかなくなるなど課題は山積みです。その中で、島内には「島を活性化したい」という気持ちを持っている方が多く、精力的にいろいろと活動されています。島外にも同じ気持ちを持つ島出身の方がいると聞き、最近では両者のネットワーク作りも協力隊の仕事ではないかと思いはじめました。

市内に住んでいる方も黒島へ来たことのない方が多いと思います。レンタサイクルもありますので、ぜひこの秋は「祈りと癒やしの島」黒島でちょっとした非日常感を味わってみませんか。皆さんのお越しをお待ちしています。

◎地域政策課 ☎24-1111

市長日記



子どもに伝える大人の徳育 ～江戸しぐさの心を佐世保に～

平成29年度第8回徳育推進フォーラムが、佐世保徳育推進会議・佐世保市PTA連合会・佐世保市の共催で、9月30日(土)に、コミュニティセンターで開催されました。

佐世保徳育推進会議は、設立以来「徳育フォーラム」の実施、一徳運動、徳育標語コンクール、徳育カレンダーの全家庭配布など、啓発活動に積極的に取り組んでいただいております。大変感謝しています。

今回の講演は、長崎市社会教育委員・江戸しぐさ伝承普及員の宮崎牧子さんに、「江戸しぐさの心を佐世保に」と題してご講演いただきました。

「江戸しぐさ」というのは、昔、江戸に住む人がお互いにいじめや争いをしないで気持ちよく暮らせるように生み出された生活の知恵、いわゆる日本人の美德である思いやり、やさしさの心だそう。残念ながら現代では消えそうになっているようですが、「徳育推進」には、今こそ役立つ、「教え」が満載されているように感じました。

「江戸しぐさ」は、漢字で書くと「江戸思草」、「思う」は考え方、「草」はアクション。心に思っている良いことを、さっと出す瞬間芸なんだそうです。江戸しぐさは、

マナーというより、意識せず自然と出る「身に付いた良いくせ」と言った方がいいのかもしれない。「江戸しぐさ」の代表的なことばには、「会釈のまなざし」「傘かしげ」「肩引き」「かに歩き」「こぶし腰浮かせ」「片目だし」「うかつあやまり」「お心肥やし」など、今で言う「キーワード」がたくさんあります。少し調べてみませんか? 今回の講演で、江戸の人たちは、「五段階養育法子育て」を普通にしていたの話も聞きました。今から親になる方たちは、知って実践すると思います。

また、江戸の人たちは、人は脳と体と心でできていて、脳と体を結ぶ糸のような役割が心だと思いました。だからこそ、3歳までには脳と体を結ぶ糸である「心」を鍛えないといけない、と考えたそうです。

そして「3つ心」「6つ躰」「9つ言葉」「12文」「15こまり理」で末が決まるということで、15歳までに3歳ごとの節(区切り)を定めて五段階養育法で育てたそうです。

紙面が限られていますので、私の感想はこのくらいにしますが、宮崎牧子さんは「江戸しぐさの心を長崎に未来の長崎のリーダーたちへ」という著書を刊行されていますので、皆さんもお読みになられることをお勧めします。佐世保市立図書館では郷土資料室に配架しており、借りることもできますので、どうぞご利用ください。

佐世保市長 朝長 則男

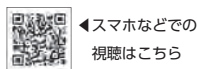
させぼ市政だより キラっ都させぼ

ますます便利な市役所へ! 変わる窓口サービス

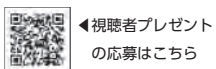
朝長市長が市の施策などについてお知らせする広報番組「させぼ市政だより～キラっ都させぼ～」を放送中です。第5回放送ではことしリニューアルした市役所の窓口などについてお知らせします。

【放送スケジュール】

第1・3土曜 9:25 (NBC)、11:45 (KTN)  
第2・4土曜 11:40 (NCC) 第2・4日曜 6:30 (NIB)  
毎週日曜 18:55 テレビ佐世保  
※11月放送分は11月上旬に市HPに公開します。



◀スマホなどでの視聴はこちら



◀視聴者プレゼントの応募はこちら

◎秘書課 ☎24-1111

人の動き

10月1日 現在

総人口 251,703人 (-28人)

男性 118,751人 (-1人)、女性 132,952人 (-27人)

世帯数 105,457世帯 (-19世帯)

9月中の動き

転入 586人、転出 566人、出生 177人、死亡 225人

させぼ市政だより

テレビ

NBC 土曜 9:25～9:30、NCC 土曜 11:40～11:45

KTN 土曜 11:45～11:50、NIB 日曜 6:30～6:35

ラジオ

FM長崎 火曜 9:05～9:10

FMさせぼ 金曜 13:00～13:55、土・日曜 8:00～8:55

(再放送)

新聞 長崎新聞 毎月第2・4火曜

徳育通信 68

聞いて「徳」する話 30 孫の大切な帽子

私の6歳の息子は週に一度習い事に通っています。平日の夕方にあるため、仕事の帰りに保育園に迎えに行き、その足で教室へ連れて行きます。仕事が早く終わったときでも時間がぎりぎりになってしまうため、どうしても連れて行けないときには、実家の母にお願いすることもしばしばです。そんな日は、母は車を運転しないため、孫と一緒にバスでの移動になります。

ある日、母から電話があり、保育園の帽子をなくしたとのことで、慌てて保育園からバス停までを探しに行ったそうです。幸いにも帽子は、教室とバス停の間の路上で見つかったのですが、どなたか優しい方が汚れないようにガードレールに掛けて下さっていたそうです。

電話口の母は孫の大切な帽子が見つかって、とても安

堵し、その親切な方に大変感謝をしていました。温かい心遣いを感じた出来事でしたが、それにもまして、遅い時間にバス停まで戻って帽子を探してくれた母の優しさを改めて感じました。

佐世保市 匿名(30代)

【聞いて徳する話】募集中

身の回りで見つけた「聞いて「徳」する話」を募集中です。応募用紙は事務局で配布しており、市HPからダウンロードすることもできます。事務局

佐世保徳育推進会議(佐世保市教育会内)

〒857-0054 栄町4番11号

電話・ファクス 23-2856

Eメール sasebotokuiku@alpha.ocn.ne.jp